

# 医療タイムス

週刊医療界レポート

2016.6/27 No.2261

## Topics

### ナイチンゲールの心を胸に戴帽式挙行 横浜未来看護専門学校

戸田中央医科グループ(中村隆俊会長)の医療法人横浜柏堤会が運営する学校法人栄戸学園横浜未来看護専門学校(横川秀男校長)は16日、横浜市戸塚区の戸塚区文化センターさくらプラザで2016年度戴帽式を行った。

荘厳なBGMが静かに流れる中、同校3回生54人が看護師の象徴であるナースキャップ(男性はチーフ)を戴帽し、舞台中央に設置されたナイチンゲール像前のキャンドルから、各人が手にしたキャンドルに火を灯した。その後全員で、看護師を目指す者として誠意を持って、患者と家族の心に寄り添う看護を実践していく誓いの言葉を群読。新たな決意を胸にした戴帽生たちは、ナイチンゲールから続くナースの精神と誓いを自らの心と

し、各病院へ実習に赴くこととなる。

式辞を述べた横川校長は、「実習に行けば、指導者や患者がいい看護師になるように、支え、教えてくれる。看護師を目指した志というものを本日を契機に思い出してほしい」と述べるとともに、「1つひとつ地道に努力し積み重ねていくことが、自分の力、糧になることは間違いなし、自身の運命を切り開くこととなる。素晴らしい看護師として社会に貢献していけるよう、皆で力を合わせていきたい」と期待を寄せた。



緊張の面持ちでナースキャップを戴帽する看護学生(16日、さくらプラザ)